

平成29年度図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ すでに対応している項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- － 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	点字図書は廃棄する際、焼却処分するしかないのか。貴重な資料なので他の活用方法はないか。	図書館で廃棄する場合は事業系ごみとして処分しています。点字の読み方案内が印刷されているページは切り取って児童の点字学習の参考用に保管し、活用しています。	◎
2	電子図書に対する取り組み状況はどうか。	地域資料のデジタル化に取り組み既に8月から練馬区史の電子書籍をホームページで公開しています。電子書籍については検討課題としています。	□
3	地域イベントに図書館も参加してほしい。町会の地区祭に図書館から資料提供・説明・パネル展示などをしてもらえると、新しい住民ももっと地域の歴史に興味を持つと思う。	今後は具体的な予定等をお知らせいただき、参加を検討します。	□
4	高齢者へのサービスはどんなものを考えているのか。はつらつセンターとの協働イベント、団体貸出などを検討しては。	今後検討します。	□
5	貸出回数が少なくても貴重な図書は、除籍しないでほしい。	同じタイトルの最後の1冊は除籍せずに、区立図書館でジャンルごとに保存する館を決めて保存しています。	◎

6	<p>「文庫本は出版後一年位は図書館に入れないでほしい」という要望が出版界から図書館に申し入れられたようだが、図書館の対応はどうか。</p>	<p>区立図書館では『複本は必要以上には購入しない、CDは同じタイトルは3点まで』と決めています。図書館と出版界は同じ出版文化の担い手として、共生していく配慮をしています。</p>	◎
---	--	--	---

※練馬区立図書館全体に関する質問、意見等については、別項「図書館全体に関する意見 意見の概要」にまとめました。